



行政書士 MAP

福岡県行政書士会

広報部発行

第 17 回：廃校を事務所にする行政書士

行政書士は扱う業務が幅広い仕事。そのため一人ひとりの得意分野や仕事の流儀、人生の背景も実に多様です。「行政書士 MAP」では、福岡県行政書士会の会員の中から、話題の行政書士やさまざまな活動を行う行政書士をご紹介します。

第 17 回は、田川郡香春町(かわらまち)で廃校となった小学校内に事務所を構える『てしま行政書士事務所 手島 美菜会員』を訪ねました。

広報部(以下「広」)：本日はありがとうございます。元小学校の教室がそのまま事務所なんですね。ロケーションも素敵ですね。手島会員は、大阪から香春町へ移住されたそうですが、まずは、その際のお話からお聞かせ願えますか。

手島会員(以下、「手」)：大学を卒業後、大阪で 4 年ほど会社員をしていました。大阪で結婚したのですが、夫が香春町の地域おこし協力隊(※1)に採用していたことをきっかけに移住してきました。

広：おふたりとも福岡県のご出身ですか？

手：いえ、夫は福岡県出身ですが、私は香川県出身です。夫とは、学生時代にメキシコに短期留学をしていて知り合いました。

広：では、手島会員は縁もゆかりもない地に移住して、開業されたわけですね。以前から移住への関心は高かったのですか？

手：いえ、全くありませんでした(笑)。夫が移住を希望した当時、私は 24、25 歳だったので都会でもうちょっと遊びたいなという思いのほうが強かったですね。

私か夫か、どちらかの地元が近い方がいいだろうと移住先を探し、他の土地に決まりかけていたとき、「香春町が地域おこし協力隊を募集している！」と夫が情報を得たんです。急ですし、いろいろと話し合ったのですが、夫はもう止められない、という勢いで。しょうがないなと私が折れ、応募することになりました。その後、無事、夫が採用となり、香春町に移住してきました。

広：香春町とは運命的な出会いだったわけですね。すぐになじめましたか？



手:最初はなかなかなじめなくて。夫は協力隊で来ているので、地元で働く中でどんどん交流を広げましたが、私は1人目の子の妊娠中に移住して来て、運転もできないので閉じもり気味で寂しかったです。マタニティーブルーもあったのじゃないかな。ですが、子どもが生まれてしまうとそんなこと言っていられませんか、気が付いたら行動範囲が広がり、知り合いも増えて、なじんでいたという感じです。役場で臨時職員をしたこともよかったのじゃないかな。

広:行政書士になられたのは、どんなきっかけでしたか？

手:2人で移住してきた当初は、私は専業主婦で、子育ての傍ら香春町役場に臨時職員で勤めたりしていました。

地域おこし協力隊の任期は3年で、夫は空き家担当でした。夫は任期中に宅建も取っていたので、任期終了後もここで暮らそうと不動産業を始めました。けれども、縁のない土地でこれから子どもを育てて生きていくなら、夫に何かあったら立ち行かなくなります。私も何か手に職を付けなければ、と漠然と考えるようになりました。

ちょうどその時期に、何人かの方から「行政書士を取ってみたら？」とすすめてもらったんです。そこで初めて行政書士という資格を知り、興味を持ちました。そこから勉強を始め、3人目を妊娠しているタイミングで合格することができました。出産後、1年くらい経って、保育園が決まったことを機に登録・開業しました。

広:上のお子さんを育てながら、妊娠、合格、出産、開業…怒濤の流れでしたね。

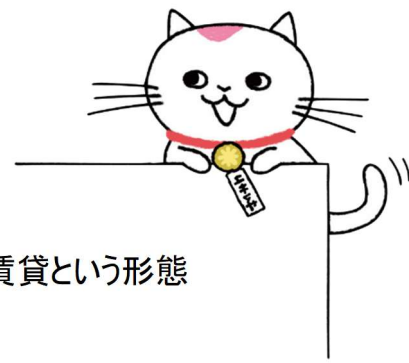
妊娠中の試験勉強は大変ではなかったですか。

手:そうですね。最初は勉強もスローペースだったのですが、後半は、「後がない！」と思って必死に勉強しました。出産後に新生児がいたら絶対合格できないと思ったんです。その頃、仕事はしていなかったのが勉強に時間を割けましたし、夫が上の子に「お母さん勉強しているからこっちおいで」と協力してくれたりもしたので、なんとか合格できたのだと思います。



広:開業は最初からこちらの、元小学校の建物で？

手:ちょうど事務所を探していた時に、ここのテナントの募集があったんです。タイミングがぴったりで、「ここしかない！」と思いました。夫は当時、自宅で開業していましたが、同じ部屋に不動産の事務所も移して一緒に開業することにしました。これは、一般社団法人



が全国の廃校を利活用して行っている事業で、香春町ではテナントの賃貸という形態でした。

ここの建物は今人気があるんですよ。鍼灸院さんや雑貨屋さんも入られています。家庭科室ではお魚屋さんが開業されていますよ。

皆さんとも親しくさせていただいて、校庭でバーベキューなどの懇親会をすることもあります。

「元中津原小学校の建物です」とお伝えすれば、初めてのお客様にも場所がすぐ伝わりますし、とても気に入っています。ただし、中に入ってから迷われる方はいらっしゃいますね。他のテナントさんを探して迷っていらっしゃる方に、「〇〇さんでしたら、3年2組ですよ」とお伝えしたりすることもありますよ。

広: この建物ならではですね。手島会員は、未経験からの開業とのことで、ご不安はありませんでしたか？

手: ありました。法律の勉強は独学でしたし、開業したものの実務ってどのようにすればいいんだろう、試験には受かったもののどうしよう、と正直思いました。ですが、受かったら他に選択肢がないと思っていたので、「開業するしかない」と。

実際に仕事をするようになってからは、支部の先輩にいろいろと教えていただき、助けていただきました。先輩に、「相続業務をしたいけれど未経験で不安です」と相談したことがきっかけで、実務のやり方を詳しく教えてもらったりもしました。初めて相続業務を受けた際も、一度流れを教えていただいていたおかげで、スムーズにいったんですよ。

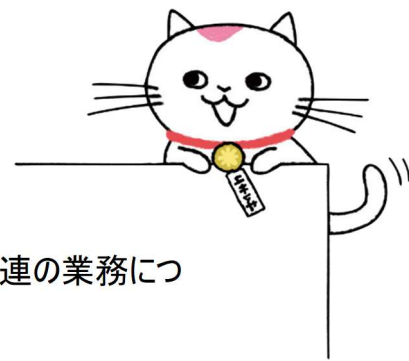
早い段階で、支部の相談員になり、先輩が相談に応じる様子を隣で勉強できたのもありがたかったです。

広: 現在の業務は、こういったものが多いですか？

手: 現在は、相続に関するご相談をお受けすることが多いです。



夫のほうの不動産の事務所に、空き家のご相談があり、お話を聞いていくうちに相続が終わっていないことが分かり、受任するケースもあります。登記自体は司法書士さんをお願いしますが、その前段階の手続きを私が担当するということが多いです。相続業務や、土地を承継する際の農地転用の手続きなどもありました。



あとは、支部の勉強会などにも参加して、許認可業務や風営法関連の業務についても勉強し、仕事の幅を広げているところです。

最近では、香春町の地域包括支援センターから「あんしんノート」という香春町版エンディングノートの作成について協力依頼をいただきました。他の若手行政書士と共同で、セミナーも担当させていただきました。包括支援センターを通じて、いただいたご相談が受任につながったこともあります。

広: 香春町に、行政書士は何人くらいいらっしゃるのですか？

手: 香春町だけでいうと、現在 2 人です。

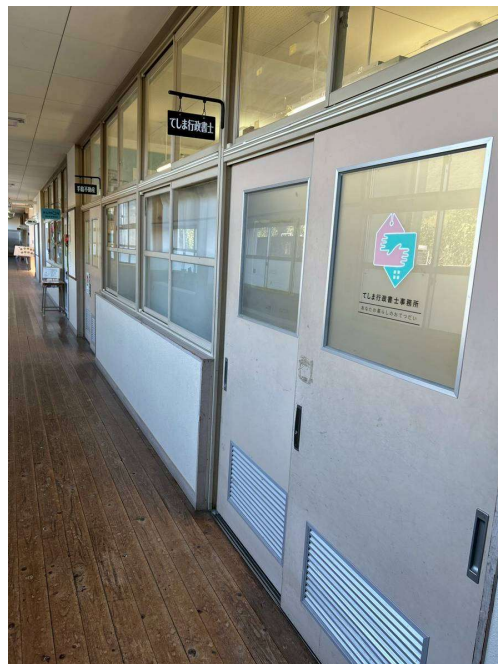
広: では、相談については一手に担われるようなイメージですね。

香春町で困ったらここへ、という。

手: そうなれたら嬉しいです。現在は、香春町の包括支援センターや行政と連携を取ってお仕事をさせていただいていますが、今後は、近隣の他の自治体とも同じような取り組みを広げていければいいなと思っています。

広: 今お子さんが 3 人いらっしゃるとのことでしたね。妊娠中に合格、出産後に開業されたということですが、そのあたりで大変だったことなどはありましたか？

手: そうですね、私も夫も実家が遠いので大変な場面はありました。夫と交代で休んだりしてなんとか乗り切ったようなこともありました。





ですが、私自身はむしろ、子育てを頑張りたいと思って、それがかなえられる仕事をして行政書士を選んだんです。行政書士であれば、仕事のペースを自分で調整できる面もありますよね。もちろん、お客様相手ではあるので自分の都合だけで動けるわけではありません。ですが、仕事が落ち着いていれば子どものお迎えに早めに行けますし、仕事の合間で家庭の用事をこなすこともできます。子どもの急な病気にも対応しやすいと思います。

私は県会（福岡県行政書士会）の会務もしていますが、部の会議にもオンライン参加が可能なので、助かっています。

仕事をする前は、子育てが終わったときに、その後の自分は何をしているんだろうという不安もあったんです。だから、子育てが終わったときの自分のために、今、仕事をしている面もあります。

広: 未来の自分のために、ですね。益々のご活躍を楽しみにしています。今日は、ありがとうございました。

※1 隊員が地方に移住して地域活性化に取り組む制度。移住先の自治体からの任期付きの委嘱で観光・農業・イベントなどの支援に従事する。



行政書士プロフィール～

手島 美菜（てしま みな）

登録年月日：令和5年3月 15 日

事務所所在地：田川郡香春町大字中津原 812 番地
中津原集学校

この記事は令和 7 年 12 月 1 日の情報です